

# 2026(令和8)年度 事業計画書

第61期〔自 2026(令和8)年4月1日  
至 2027(令和9)年3月31日〕

## 2026(令和8)年度 事業計画

2025年度の世界経済は、米国の極端な高関税政策に対して各国が協定と修正によって、その影響が緩和されたものの、世界経済全体の持ち直しを鈍化させた。さらに保護主義と分断化の拡大は、不確実性の長期化や保護主義措置の激化を招き、成長をより抑制する要因となりつつある。

また、長期化するロシア、ウクライナ間の戦争、イスラエルとハマスの不安定な停戦合意、米国のベネズエラ大統領の拘束、悪化する日中関係といった地政学的リスクも活発化しており、いずれの関係もその帰趨が見えない中、より不透明感を増している。

日本経済は、米国の保護主義的な通商政策による影響が自動車産業を中心に様々な製造業にみられるものと考えられていたが、当初懸念されたほどではない状況に落ち着いている。ただ、円安傾向・物価高は、個人消費の下振れリスクの可能性も含んでおり、また日中関係の悪化に伴うレアアース輸出規制など、中国側の規制が強化されていけば、日本経済にとって大きな脅威に発展する可能性も出てくるものと考えられる。

今後、堅実な賃上げの継続による個人消費の促進、人手不足を補うDXや脱炭素、省エネを促進させるGXなどを中心とした設備投資の拡大、さらにこうした動きを強力に支える政府の物価高対策を含む総合経済対策などが景気を牽引することで、緩やかな成長軌道を着実にしていくことが期待されている。

このような中、2025年の国内新車販売は、登録車及び軽自動車合計で456万5,777台、前年同期比3.3%増となった。昨年、一部メーカーの認証不正で新車供給が減少していたことによる反動増もあり、2年ぶりに前年を上回る結果となった。内訳は、登録車が289万8,417台、前年比1.2%増、軽自動車については166万7,360台、前年比7.0%増で共に2年ぶりのプラスとなっている。

また、2025年の中古車登録台数については、登録車が363万2,179台、前年比0.8%減となった。軽自動車は285万5,689台、前年比0.7%減となっている。

このような自動車販売市場の環境下にあって、当協会の公益事業については、中古自動車査定士技能検定を2026年度も年2回実施する予定である。

技能検定の申請者数は、この数年減少傾向が続いている。このため、検定講習にお

いて受験者の都合に合わせて受講が可能となる e-ラーニングによる講習を積極的に展開し、申請者数回復に努めた。2025年度（6月、12月）の申請者数は11,384名（前年度比100.7%）、78名の微増となった。

査定士資格の更新対象者に対する研修会については、2026年度も従来の対面による集合研修に加え e-ラーニングによる講習を引き続き展開し、販売店ごとの要望に対応できる体制を整えて実施することとする。

収益事業については、依頼査定は2024年度が前年同期比83.8%、2025年4月～2026年1月は前年同期比101.3%、バングラデシュ向けの価格証明事業は2024年度が前年同期比98.7%、2025年4月～2026年1月は前年同期比100.2%、車両状態確認証明書は2024年度が前年同期比86.8%、2025年4月～2026年1月は前年同期比102.1%、オークション出品車両の事前検査事業は2024年度が前年同期比97.4%、2025年4月～2026年1月が前年同期比76.0%、中古車の輸出検査事業は2024年度が前年同期比124.3%、2025年4月～2026年1月は前年同期比464.4%となった。

なお、販売店各社からの要請に基づき修復歴等中古車の車両状態を検査・証明する「車両状態証明事業」（V-CON）の検査証明台数は2024年度が前年同期比102.9%、2025年4月～2026年1月が98.4%となっている。

2012年4月の一般財団法人移行後、従来通り自動車関係業界から依頼される各種事業を確実・積極的に実施するとともに、消費者・ユーザーのニーズや流通形態の変化に的確に対応した事業開拓にも努力を傾注することが重要であると考えている。

このため、2026年度当協会の各種事業を安定的・継続的に実施するため、次の点を中心に事業展開を図るものとする。

# 主要事業の内容

## 1. 査定制度の普及、定着を目指す事業の推進

### (1) 中古自動車査定士技能検定

2025年度の受験申請者数は、前期・後期合計で11,384名（小型車11,224名、大型車160名）となり、前年比100.7%の微増となった。2026年度は、昨年度と同様に6月は小型車査定士及び大型車査定士、12月は小型車査定士の技能検定を実施する。

検定のための講習については、従来の対面型の講習とeラーニングによる講習を選択可能とし、多様化する受験ニーズに引き続き対応するとともに、技能検定試験の実施に当たって、問題作成、発送、採点等、運営全体にわたり厳正な実施に努めることとする。

### (2) 査定基準の見直し

2025年度は、加減点基準Ⅱ（協会用）における小型車部分全般の見直しを行い改正した。あわせて、加減点基準Ⅰ（販売店用）については、オークション取引で用いられている評価点方式を調査し、修理費を基準とする従来方式から、車両状態を反映した評価点による査定方式への転換を検討した。2026年度も引き続き、評価点方式による査定基準の検討を進め、早期の販売店展開を目指すこととする。

### (3) 査定総合支援システム「カーチェックス」

査定総合支援システム「カーチェックス」は乗用各メーカー系列販売店で様々な連携及び独自仕様を施しており、日常業務において、必要不可欠なシステムになっている。自動車業界の変化及び日進月歩のIT業界において、常に新しい機能等を提案し、使用者の効率化を図っている。現在開発中のブラウザ版や現場のニーズに応えた内容及びデバイスへの対応を積極的に進めることとする。

### (4) 査定士に対する研修及び講習

2026年度に行う査定士資格更新のための研修は、「研修用ノート17、査定力向上のヒント」を使用し、査定技能の向上に努める。この研修は、対面式の講習に加えてeラーニング講習を提供し、利便性を良くしてほしいという販売店ニーズに、引き続き対応することとする。

また、更新研修と併せて、「査定の予備知識、トラブルを防ぐために」を使用する特別講習を実施し、適正査定による信頼性の向上を図ることとする。

(5) 中古自動車査定士技能コンテストへの協力

近年、査定技能の向上を図る目的で、査定士技能コンテストを実施するメーカーや販売店が増加しており、その運営について協力を行っている。2026年度は、引き続きこの要請に対して積極的に協力を行い、販売店の査定力向上に努めることとする。

(6) 各種講習用教材の開発

2026年度は、昨年に引き続き「査定のための自動車構造知識」と「はじめての査定」の改版作業を行うとともに、新たに「査定士技能向上研修用ノート18」の作成作業を開始することとする。

(7) 査定制度等のPR

ホームページから査定に関する情報動画等を公開し、消費者へ査定制度の必要性、重要性を広報することとする。また、ノベルティグッズを積極的に活用し、消費者に対して査定制度のPRを実施する。

(8) 中古自動車査定士技能コンテスト全国大会

中古自動車査定士技能コンテストはこれまで、査定制度の普及と査定士の技能向上を目的に実施されてきている。2026年度は協会創立60周年を記念して2026年7月23日（木）に東京・品川プリンスホテルにおいて全国大会を実施する。実車査定については査定総合支援システム「カーチェックス」を取り入れた競技を前回同様に実施することとする。

## 2. 中古車関連情報の適切迅速な提供

(1) 中古車価格ガイドブック（イエローブック・シルバーブック）

ガイドブック作成にあたり「中古車販売実績」「市場実態調査」「オークション情報」等幅広い情報を積極的に取り入れ、掲載価格が市場実勢と乖離することがないよう努めることとする。中古車ガイドブックの拡販策として新規査定業務実施店には3ヵ月間シルバーブックとイエローブックの無償配布を継続することとする。

カーチェックス等の査定システムの普及に伴い、紙媒体の販売部数は減少傾向となっていることや、紙代等の材料費の高騰により作成費が上昇していることから、2026年4月号より販売価格を改定する。

## (2) JAAI-Net

インターネットを通じての中古車情報発信手段となる JAAI-Net については、引き続き車両装備内容や価格情報の充実にも努めることとする。また、JAAI-Net はカーチェックスに連動していることもあり、利用者への利便性を高めて会員増にも努めることとする。

## (3) e-JAN

流通価格情報サイト e-JAN (Electronic JAAI Auto Net) は、現在の中古車流通の大半を占めるオークション価格情報について、各利用者の意見を収集し、掲載会場の増加、掲載内容の増量を可能な限り拡充している。引き続き、各自動車メーカー、自動車販売店、中古車販売事業者、中古車買取会社等のニーズに答えるべく、更なる利便性を上げていくこととする。

# 3. 査定協会職員による査定及び検査証明業務の適正な実施

## (1) 依頼査定

オークションやインターネット取引の拡大により、査定依頼は多様化・複雑化している。このような状況を踏まえ、当協会は第三者機関としての中立性と公平性を堅持し、厳正かつ適正な査定を実施する。あわせて、支所間での査定情報の共有を推進し、査定品質の均一化と信頼性の向上を図ることとする。

## (2) 車両状態証明事業 (V-CON)

インターネットによる中古車販売の拡大を背景に、車両状態証明書へのニーズは引き続き高い水準にある。このため、2026年度においても積極的なPRを継続し、車両状態証明事業 (V-CON) のさらなる普及・拡大を図ることとする。

## (3) 商品中古自動車確認証明業務

2026年度も各税務事務所との連携を確実にし、申請台数の増加に努めるとともに、適正な業務を実施することで信頼性の向上に努めることとする。

#### (4) 中古車輸出検査事業

輸出前検査の主要な仕向け国は、モーリシャス、バングラデシュ、スリランカである。2026年度も、関係各国への情報収集を行い、ニーズに沿った厳正な検査を行うこととする。

#### (5) オークション出品車両の検査

2026年度も長年の査定や検査で培った知識と経験を生かし、常に厳正な姿勢で出品車両の検査をすることにより、オークション出品車両の検査を通じて、中古車取引の信頼性向上を図ることとする。

### 4. その他

#### (1) 創立60周年記念式典

2026年7月23日（木）に東京・品川プリンスホテルにおいて、各方面の関係者を招いて創立60周年記念式典を開催する。

#### (2) 業務・会議運営の効率化

業務全般に亘って効率的な業務遂行を目指し、経費、時間の節減に努めることとする。

#### (3) 協会職員の人材教育

査定職員及び経理担当者に対して、必要な研修を実施し、厳正で的確な業務が遂行できるよう教育を行うこととする。

#### (4) 自動車関係団体との連携強化

関係諸官庁並びに団体との連携を密に行い、情報交換や資料の収集に努め、各事業の円滑な実施を図ることとする。

#### (5) 法令遵守及び職場環境改善

職場におけるハラスメント防止対策の重要性を踏まえ、外部講師による研修を継続的に実施している。2026年度も、ハラスメントを含むコンプライアンスへの共通認識と正しい理解の定着を図るため、遵守に向けた取り組みを継続することとする。